

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 1 2 号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 3 年 1 月 7 日 (木)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『好きこそものの上手なれ』・『無事これ名馬』

校長 小熊 誠

令和 3 年、大きな青空の下、穏やかに新年を迎えることができました。まずは、大原に携わっていただいている全ての皆様に感謝です。ありがとうございます。私も 12 月 31 日には、令和 2 年、生徒達を守り、磨き、輝かせくれた校舎に校庭に感謝を表し、1 月 5 日の仕事始めには、守り神である足立神社に令和 3 年のお願いに行き参りました。しかし、コロナウイルスとの戦いは今まさに正念場です。保護者・地域皆様も今までとは違う年末年始を迎えられたと思います。



私も例年であれば、年末はカミさんの実家、年始は私の実家で過ごし、実家には教え子たちが、1 人で、あるいは家族で、思い思いの酒をもって訪れ、近況や今年の目標を語り合う、本当に楽しい時間を過ごしていましたが、今年はないませんでした。息子が生まれてから初めて家族 3 人で年末年始となりました。



そこで、1 月 2 日は、久しぶりに息子と 2 人でゆっくりと風呂に入りながら、今年の目標について語り合いました。まずは私。今年の目標は、「大原を、先生にも生徒にも保護者・地域の皆様にも 1 番好きだと言ってもらえる学校にすること」と話しました。息子は、「パパは、今、大原が 1 番好き？」と返してきました。ドキッとしました。次は、息子です。昨年を表す漢字一文字を「蹴」としていた息子は、即答でした。「公式戦にスタメンで出ること」。息子に「サッカー好きか」と聴くと息子は「大好き」とニコニコ答えました。私は、そんな息子に、『好きこそものの上手なれ』と『無事これ名馬』2 つの諺を授け、以下の話をしました。

まず、そんなに一生懸命に打ち込める大好きなものに出会えたことに感謝だね。好きであれば、自ら集中してやるし、もっと楽しく、もっと上手くなるためにはどうしたらいいのか考えるよね。考え、実行すれば必ず上手くなるよ。そしてほんのちょっとでも上手くなれば、より好きになり、より楽しくなっていくはずだよ。これから辛いこともあるかもしれないけど、大好きでいることが 1 番大事だよ。そして、好きなことを毎日やるには、心身の健康が大事だよ。そうすると常に健康であるためにはどうすればいいのかを知りたくなるよね。調べたり、聴いたりすれば、何が必要で、何をしなくてはいけないのかが分かってくるはずだよ。何しろ、毎日継続してやれることが上手くなる 1 番の近道だと思うぞ。

今まで起こさなければいつまでも寝ていた息子が、3 日は 1 人で起きて、合宿に出かけました。息子の令和 3 年、楽しみです。そして、実はこの 2 つの諺は、私の目標にも当てはまります。まずは、私達教職員が大原を大好きになること、そして生徒や保護者・地域の皆様に大原をもっと、もっと好きになってもらうためには、どうしたらいいのか考え、実行すること。すなわち「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」の実現です。また、生徒達が毎日笑顔での活動を継続していくには、予防・拡散防止対策を万全に、心身の健康管理に努めることが必要不可欠となります。まさに 2 つの諺通りです。これからますますコロナウイルスへの対応が厳しくなっていくことも予想されますが、教職員一同、心を 1 つに、尽力して参ります。保護者・地域の皆様、令和 3 年もどうぞ今まで通りの温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。併せて皆様も健康には十分御留意ください。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校